



昨年に続き、新型コロナウイルスの蔓延による非常事態宣言が度々発令される中、学校においては、児童生徒に関わる問題が多様化し、保健室における養護教諭の役割も様々な分野に及んでいます。養護教諭は、通常の業務に加えて、感染予防のためにあらゆる対策を講じて、子どもたちの安全を守るために、日々その役割は多岐にわたってきています。

特定非営利活動法人健康推進プラネットは、養護教諭の皆さんが各学校において健康教育の中心となって活躍することにより、子どもたちが自分の健康に興味関心を抱き、健康について意識しながら成長していくことを目標に活動しています。そのために、研修会や学習会を開催して養護教諭の皆さんに学びの場を提供する等、今よりさらに力をつけて資質向上を目指そうとする養護教諭の皆さんを応援しようと考えています。

「自分の体は自分で守る子ども」の育成を手助けするための学習の場を提供しています。また、引き続き地域の健全育成のためにも努力していきたいと思います。

## <事業内容>

### ① 養護教諭の資質向上のための事業

#### 日本学校保健研修会

全国の養護教諭を対象に名古屋市に於いて年1回、専門性を高める研修会を開催しています。2021年度は7月26日(月)にイーブルなごやホールにおいて開催されました。

その内容をお知らせします。

**第1講座**…2019年度健康システムコーディネーター養成講座を受講し、論文の最優秀賞を受賞した、名古屋市立下志段味小学校養護教諭の市川恭平氏より「『思考・判断・表現』に視点を当てた喫煙・飲酒・薬物乱用に関する保健教育の充実」についての研究論文の報告がありました。市川先生は男性養護教諭として全国的組織の会長です。

**第2講座**…TVでも時々拝見する金髪の先生、名古屋大学大学院教育発達科学研究科・准教授の内田良氏からは、「子どもにケガはつきものか?!」と題し、「見える化活動」の成果報告をしていただきました。参加者からは、学校における部活動等のリスクを見える化する事で、私たちの環境を見直せるとの感想が多くありました。

**第3講座**…「LBGTQA+が学校に存在すると仮定して行う保健指導」をテーマに養護教諭としての気配りと声のかけ方について、助産師の清水ユカリ氏より多くの事例を示していただきながら、詳しく学びました。

**第4講座**…養護教諭が身につけたい保健の知識として、「教育現場におけるコロナウイルスについての現状と留意点、およびがん教育について」を、医療現場のコロナの実態や予防接種受診の有無、がんと癌の違いや種類等について、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（今年7月1日より名称変更）林克巳医師より学びました。



日本学校保健研修会（内田氏講演）



参加者からの質問

## ② 健康システムコーディネーター養成事業（2019年度より開始3年目）

- ・ 養護教諭の持てる力を発揮して学校現場におけるすべての子どもたちの心身の健康を守り育て、また家庭・地域社会においても、健康の大切さを啓発し、健康増進につとめるよう健康教育・保健指導をすすめていくための研修を行い、既定の単位を取得した人に健康システムコーディネーターの資格を授与します。
- ・ インクルーシブ教育の理解のために「障がいを抱える子どもたちの学校における環境づくりのための健康システムコーディネーター養成事業」として取り組み、学童期の子どもと障がいを抱える子どもとの交流がスムーズにいくように援助します。
- ・ 取得後は研修会等の企画・運営に携わることができます。
- ・ この事業は、2021年度日本郵便・年賀寄付金配分を受けています。
- ・ 講座の内容につきましては、次回の会報で報告させていただきます。

## ③ 学校における検診の介助事業

- ・ 耳鼻科検診、歯科健診の介助に養護教諭や看護師を派遣又は紹介を行います。
- ・ 就学時健康診断時の介助に養護教諭や看護師を派遣又は紹介を行います。
- ・ 上記以外の各種検診や必要時に介助者の派遣または紹介を行います。

## ④ 地域の健全育成のための事業

- ・ 子育て支援事業を実施しています。地域の子育て事業を月1回実施し、会員の保健師らが講話や育児相談などを行っています。2020年、2021年はコロナウイルスの蔓延のために中止となりました。
- ・ 修学旅行、野外学習活動、遠足等の引率に退職養護教諭や看護師を派遣又は紹介事業をしています。